

総合内科学

[M4-70077P1]

1 臨床実習の概要

総合内科学実習では特定の疾患にかかわらず、種々の疾患や様々な不定愁訴をもつ患者を全人的に診療することに積極的に参加し、内科一般診療におけるプライマリケアの分野で主要な病態、診断、治療を理解し、各種スタッフとの円滑な連携を尊重した医療を学ぶ。生活習慣病、性差医療、睡眠医学、漢方医学などの診療の見学レクチャーを通して、その必要性、意義を学ぶ。

2 金沢医科大学の学修成果（アウトカム）

- ①豊かな人間性と倫理観
- ②生涯学習
- ③医学知識と技能
- ④患者中心・チーム医療とコミュニケーション能力
- ⑤地域医療・社会貢献・国際貢献
- ⑥科学的態度・探求心

3 臨床実習の学修成果（アウトカム）

※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学の到達目標との関連を示す。

- 多職種との連携、信頼の構築とともに患者との接し方など、人間関係を良好かつ円滑につくることができる（①④）
- 主にプライマリケアで遭遇する疾患を通し、症候から原因を探求し、治療まで一連の考察が可能である（②③⑥）
- 疾患のみではなく患者を全人的に捉え、個々の症例に対応する能力を自ら学び、症例提示をすることができる（③⑥）
- 実習を通じて以下の内容ができるようにする
 - ・ 医学生として適切な医療面接や、身体診察など基本的な情報収集ができる（③）
 - ・ プライマリケアの現場に参加し、遭遇した症例から問題の抽出、各種の鑑別診断を挙げることができる（③）
 - ・ 疾患だけでなく個々の患者の背景にも留意し、診断、治療、教育などの計画を立案できる（③）
 - ・ 各外来における主要な症候・疾患の病態生理、臨床的特徴、診断基準などについて理解し、必要な検査、治療、合併症、予後の要点を説明できる（③）

- 各外来に欠かせない多職種、チーム医療に参加し、円滑な人間関係を築く（④）
- 患者に必要とされ、提供されるべき地域の医療体制、制度を理解し説明できる（④⑤）

※主要な疾患、症候、検査、治療

症候

主にプライマリケアにおける外来診療で遭遇する症候であるが、性差医療や漢方治療が適応とされる多様な愁訴を含む

疾患・治療

経験できる症候：発熱、倦怠感、関節痛、意識障害、神経障害、

経験できる疾患：病態：炎症性疾患、腫瘍性疾患、アミロイドーシス、代謝疾患、内分泌疾患、血管炎、電解質異常、オンコロジーエマージェンシー、腫瘍随伴症候群、サルコペニア

検査・医用機器など

採血、検尿、超音波検査、CT/MRI 検査等

4 方 略

臨床実習、カンファレンス等により症例検討を行う

5 事前事後学修について

モデル・コア・カリキュラムガイドラインを参照

6 評 価

7 実習スケジュール

別項参照

8 教育担当者

実習責任者：水田 秀一（総合内科学）

担当教員：水田 秀一, 中橋 毅, 上西 博, 山田和徳, 八木邦公, 守屋 純二, 山野高弘,
上田祐輔, 三島啓太

9 参 考 図 書 ・ 文 献

1. 医療探偵「総合診療医」 光文社新書
2. 逆引きみんなの医学書 祥伝社黄金文庫
3. 極論で語る総合診療 丸善出版
4. 診断力を鍛える！ 症候足し算 羊土社

総合内科学

第4学年 臨床実習スケジュール表

第1週

	8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
月	オリエンテーション [水田] (カンファレンスルーム 632)	外来実習					外来実習			
火		外来実習					課題確認 [水田] (カンファレン スルーム632)	外来実習		
水		外来実習					外来実習			
木		外来実習 カンファレンス					スキルアッププログラム（座学）			
金							スキルアッププログラム（座学）			

第2週

	8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
月		外来実習				外来実習 (カンファレンスルーム632)				
火		レクチャー 〔水田〕 (カンファレンス ルーム632)	外来実習							
水		外来実習								
木	総括 〔水田〕 (カンファレン スルーム632)	外来実習 カンファレンス				スキルアッププログラム (座学)				
金						スキルアッププログラム (座学)				

集合場所・時間：医学教育棟6階 総合内科学 カンファレンスルーム632 午前8時30分